

2013年（平成25年）12月22日（日曜日）

大館市

ヒマワリを布絵に

釈迦内に寄贈 山神台の女性2人が制作

大館市釈迦内小（五十嵐校長）に、地元の人々の活動で製作した布絵を寄贈した。玄関と2階の校長室前に計3点が飾られており、満開のヒマワリなどをイメージした温もりあふれる作品がびびっている。



ヒマワリをモチーフにした布絵が寄贈された（釈迦内小で）

寄贈したのは、山神台の老人クラブで布絵を製作している日景ヤスさん（86）と鈴木一枝子さん（76）。作品はもともと地区の文化祭への出展用だったが、会場に来ていた五十嵐校長が見て完成度の高さに感激し、2人に学校での展示を依頼。「児童が喜んでくれるなら」と、寄贈に快く応じたという。

玄関前に飾られた日景さんの作品「ひまわりの里」は、青空の下でヒマワリが満開に咲いたタペストリー。色の違う古布などを使い、奥行きのあるものに仕上げた。鈴木さんの作品にテーマはないが、1本のヒマワリが持つ美しさを表現しており、校長室の前で来客を歓迎している。

19日には2人が学校を訪問。同じ山神台から学校に通っている木村志乃さん、日景紫苑さん、藤盛詩央さん、古家佳苗さんの6年生4人が迎え、「夏に見たヒマワリがそのまま再現されているみたい。毎日見られてうれしい」などと感謝の言葉を送っていた。

日景さんは「学校に残るものを寄贈できてうれしい」などと話し、鈴木さんも「飾るようなものじゃないけど」と謙遜しつつ、うれしそうにほほ笑んでいた。